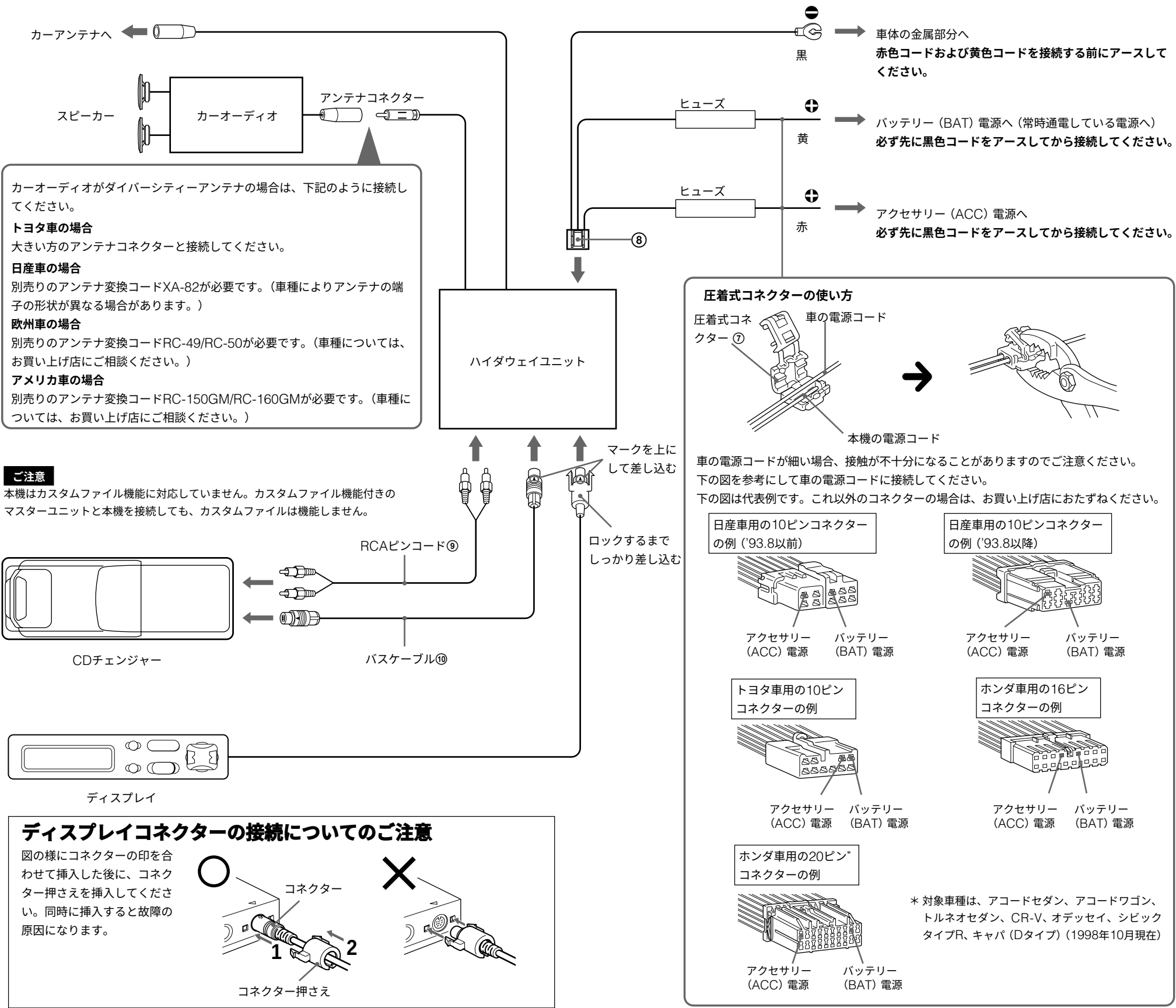


接続

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
別売り品の仕様についてはカタログまたはお買い上げ店にご相談してください。



ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにしてください。

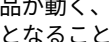
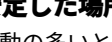
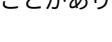
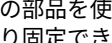
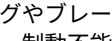
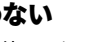
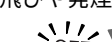
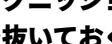
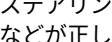
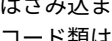
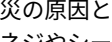
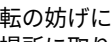
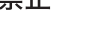
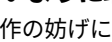
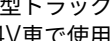
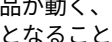
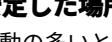
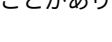
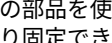
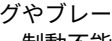
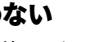
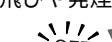
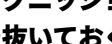
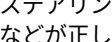
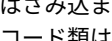
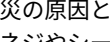
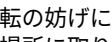
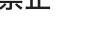
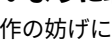
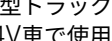
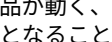
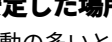
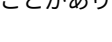
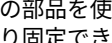
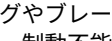
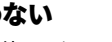
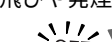
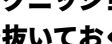
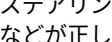
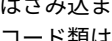
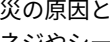
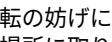
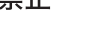
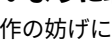
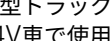
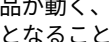
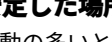
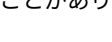
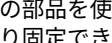
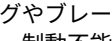
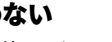
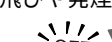
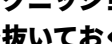
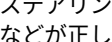
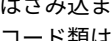
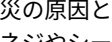
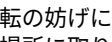
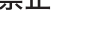
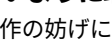
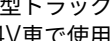
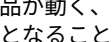
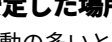
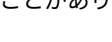
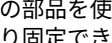
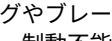
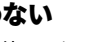
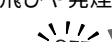
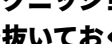
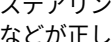
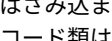
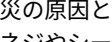
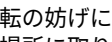
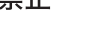
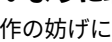
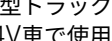
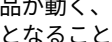
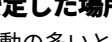
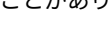
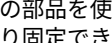
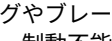
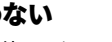
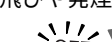
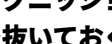
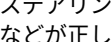
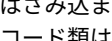
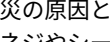
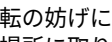
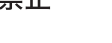
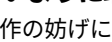
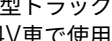
電源コードの色分け

赤色コード	アクセサリ (ACC) 電源入力コード。 車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ (ラジオ回路など) に接続します。
黄色コード	バッテリー (BAT) 電源入力コード。 車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。ディスプレイのOFFボタン、リモコンのOFFボタンを押すか、イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード。 車体の金属部分に確実にアースしてください。

警告 安全のために

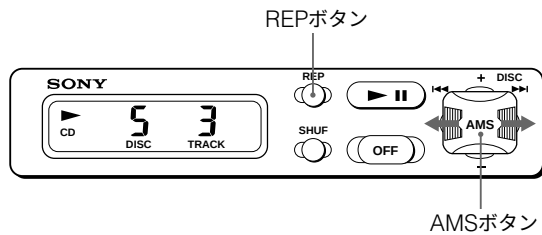
警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



送信周波数を設定する

本機ではCDをFMチューナーで聞きます。そのため、聞いている周波数にFM放送があるとCD再生時に雑音が入ることがあります。その場合は本機からFMチューナーへ送る周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。



1 REPボタンを2秒以上周波数が表示されるまで押す。

2 AMSボタンを押して、周波数を選ぶ。
◀▶を押すたびに周波数は次のように切り換わります。

88.3MHz → 89.9MHz → 89.7MHz → 89.5MHz → 89.3MHz → 89.1MHz →
88.9MHz → 88.7MHz → 88.5MHz

▶◀を押すと逆順に表示されます。

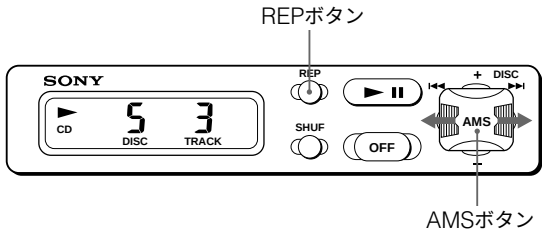
3 最後にREPボタンを2秒以上押す。

ご注意

本機の周波数を変えたときは、必ずFMチューナーに登録（プリセット）する周波数も変えてください。

出力レベルを設定する

FMチューナーの入カレベルに合わせて本機の出力レベルを設定できます。ふつうは初期値で使用しますが、必要に応じて切り換えてください。



1 REPボタンを2秒以上押す。

2 つづけてREPボタンを短く押す。初期値

3 AMSボタン押して、出力レベルを選ぶ。

◀▶でレベルが低くなります。

▶▶でレベルが高くなります。

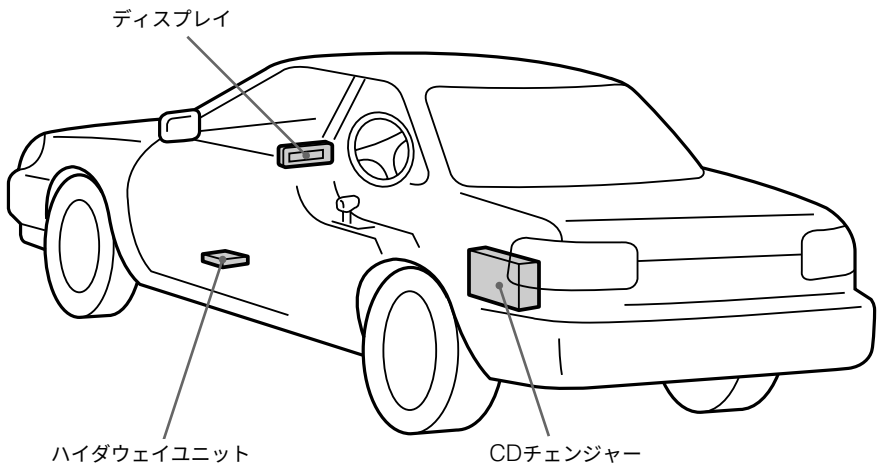
4 最後にREPボタンを2秒以上押す。

取り付け

取り付け場所

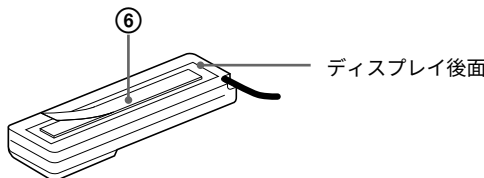
次のような場所に取り付けないでください。

- 運転の妨げになる所
- 同乗者の安全を損なう所
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所
- しっかりした取り付けのできない振動の多いところ
- 配線コードやパイプが下を通っているところ
- トランク内またはトランク下にあるスベアタイヤ、その他の備品などを傷つけるおそれのあるところ
- ほこりの多い所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所



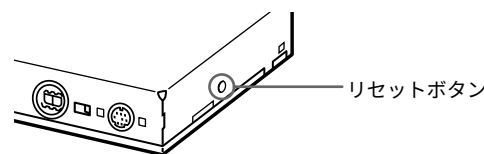
ディスプレイの取り付け

両面テープを貼り付ける場所をきれいにし、⑥で運転の妨げにならない、見やすい位置に取り付けます。



取り付けと接続が終わったら

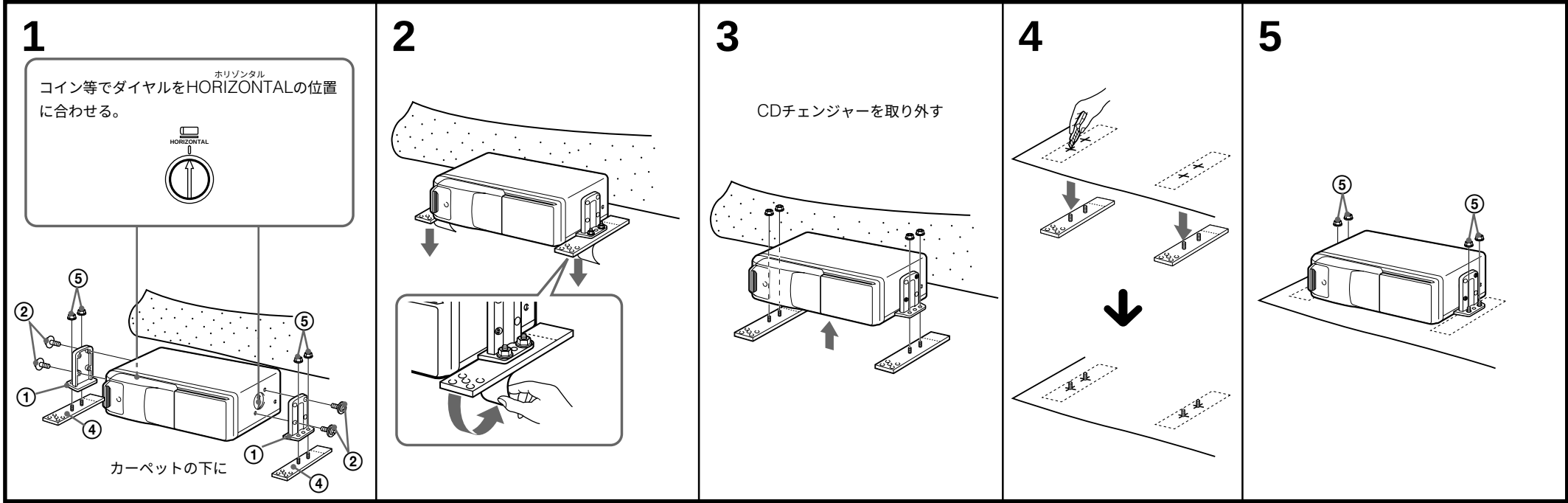
- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確かめてください。
- 必ず、ハイダウェイユニット側面にあるリセットボタンをつま楊子の先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因になります。



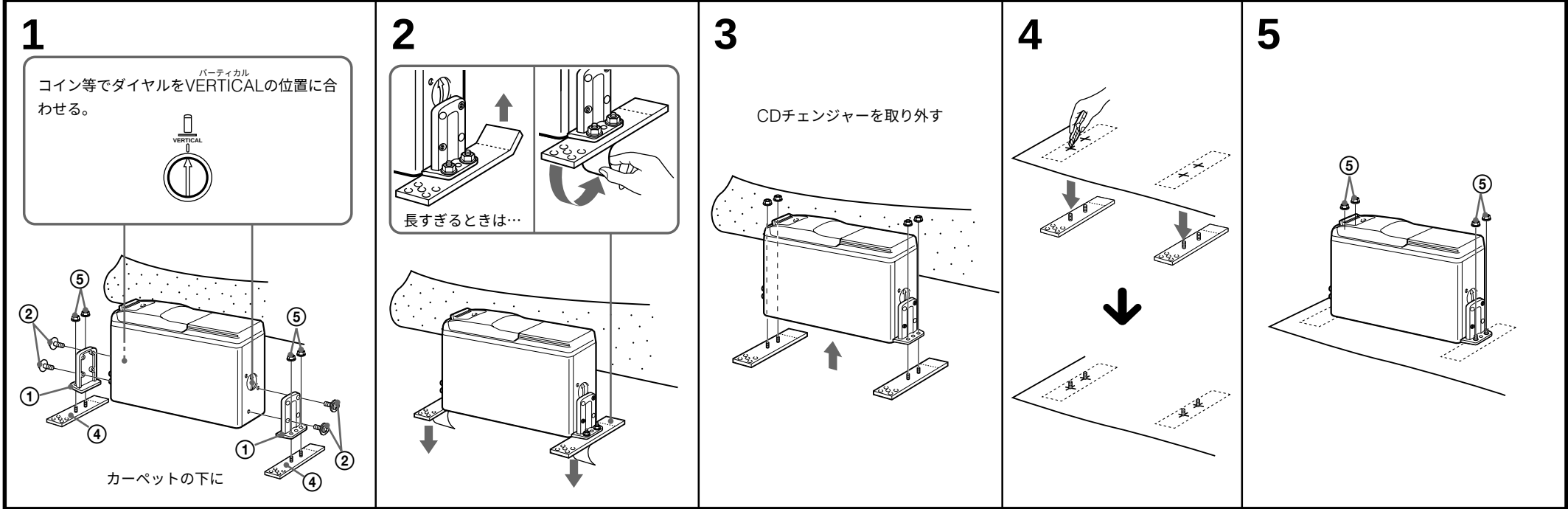
- 故障かな？と思ったら場合は、接続をもう一度確認するとともに、取扱説明書の「故障かな？」をご覧ください。

CDチェンジャーの取り付け

横に置いて取り付ける場合



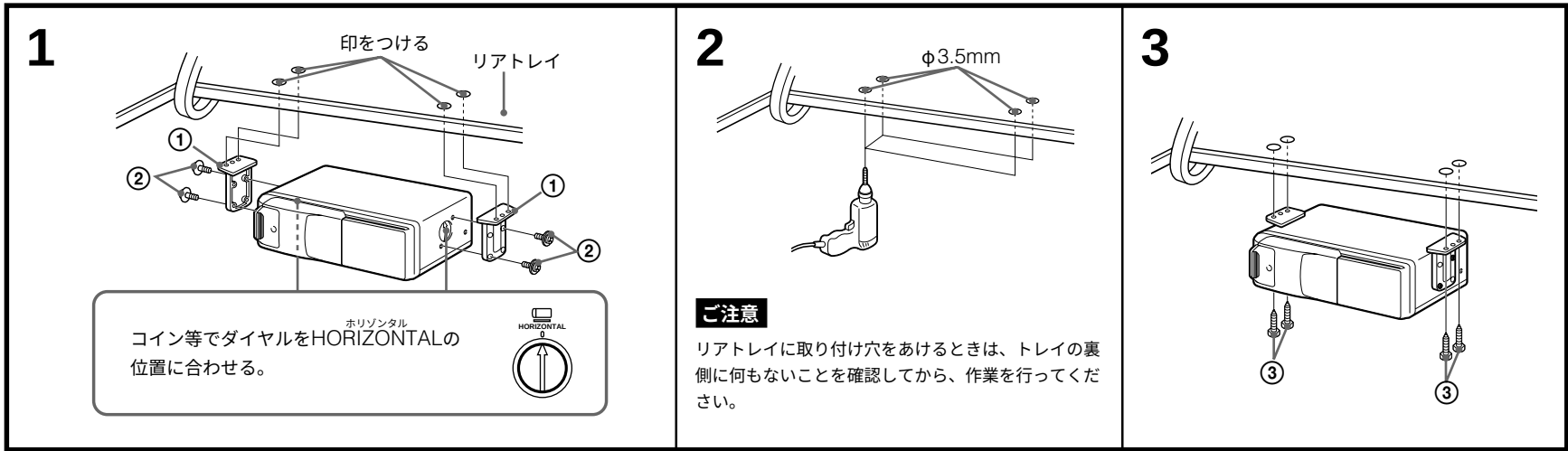
たてに置いて取り付ける場合



吊り下げて取り付ける場合

トランクルームのリアトレイ下等に吊り下げて取り付ける場合、以下の点にご注意ください。

- 本体が水平に取り付けられる場所を選んでください。
- トランクリッドの開閉時に、本体とトランクリッドのトーションバースプリングが接触しない場所を選んでください。



傾斜のあるところに取り付ける場合

左右のダイヤル上には5段階の目盛りがあります。本体を取り付けたときにダイヤルの矢印が地面に対して垂直に近くなるように合わせてください。

ご注意

左右のダイヤルの矢印は、必ず同じ位置の目盛りに合わせてください。

